

令和8年8月20日
記者懇談会資料中部運輸局交通政策部
環境・物流課 鈴木・吉田
TEL 052-952-8007

鉄道・船舶へのモーダルシフトを支援 ～トラックドライバー運転時間・CO₂の削減を推進～

物流では、人口減少・少子高齢化の進行等に伴う更なる輸送力不足が見込まれており、年々深刻化する構造的な問題となっています。また、2050年のカーボンニュートラルに向けて物流分野においても温室効果ガスの排出を削減していく必要があります。

国土交通省では令和8年度「物流効率化推進事業」において、本年7月31日に中部地方で4件の事業を採択しました。

荷主と物流事業者が連携して、トラックから環境負荷の低い鉄道・船舶にモーダルシフトする取組を支援し、トラックドライバー運転時間とCO₂排出量の削減を推進します。

（支援事業①）厨房機器輸送の鉄道へのモーダルシフト（運行経費補助）

○主体：タニコー(株)、鴻池運輸(株)、(株)ジェイアール貨物・北陸ロジスティクス、日本貨物鉄道(株)

○区間：福井県大野市→南福井駅→福岡貨物ターミナル駅→福岡県三井郡大刀洗町
(鉄道)

○効果：トラックドライバー運転時間 87.4%削減（年間 432 時間削減）
CO₂排出量 76.0%削減（年間 40.5t 削減）

（支援事業②）特殊鋼材輸送の鉄道へのモーダルシフト（運行経費補助）

○主体：(株)プロテリアル、ロジスティード西日本(株)

○区間：島根県安来市→伯耆大山ターミナル駅→名古屋南ターミナル駅→愛知県豊田市
(鉄道)

○効果：トラックドライバー運転時間 81.9%削減（年間 532 時間削減）
CO₂排出量 68.0%削減（年間 31.3t 削減）

（支援事業③）自動車部品・空器具輸送の船舶へのモーダルシフト（運行経費補助）

○主体：ゲスタンプ・ホットスタンピング・ジャパン(株)、三井物産グローバルロジスティクス(株)、(株)フジトランスコーポレーション

○区間：三重県松阪市⇄名古屋港→新門司港⇄福岡県宮若市
(船舶)

○効果：トラックドライバー運転時間 81.0%削減（年間 1,700 時間削減）
CO₂排出量 43.0%削減（年間 69.8t 削減）

(支援事業④) 工業用コーンスターチ輸送の船舶へのモーダルシフト (運行経費補助)

○主体：王子コーンスターチ株、(株)フジトランスコーポレーション

○区間：愛知県知多市→名古屋港→谷山港→鹿児島県薩摩川内市

(船舶)

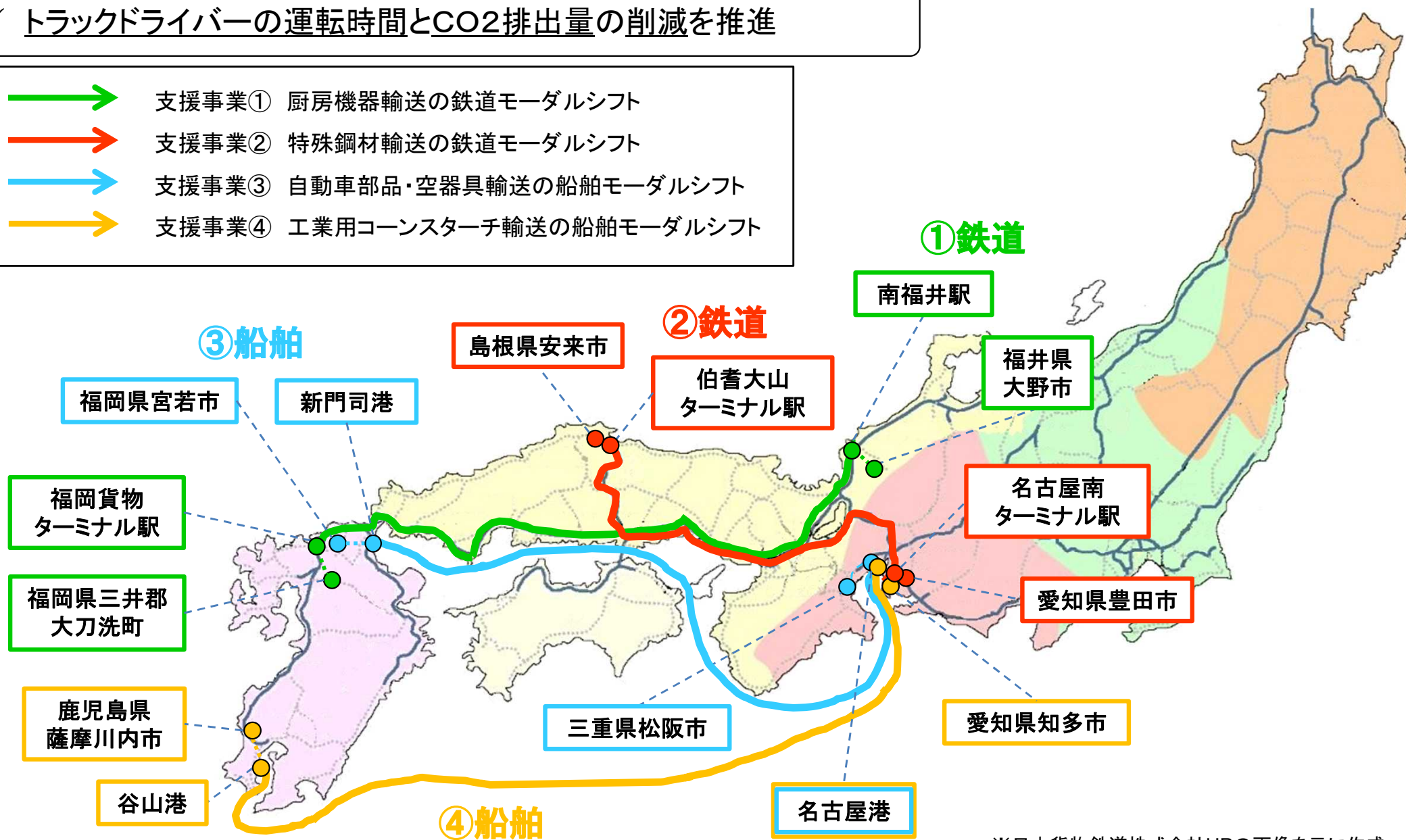
○効果：トラックドライバー運転時間 68.7%削減 (年間 396 時間削減)

CO₂ 排出量 25.0%削減 (年間 26.1t 削減)

令和8年度物流効率化推進事業の支援事業(中部管内)

- ✓ トラックから環境負荷の低い鉄道・船舶へのモーダルシフトを支援
- ✓ トラックドライバーの運転時間とCO2排出量の削減を推進

-  支援事業① 厨房機器輸送の鉄道モーダルシフト
-  支援事業② 特殊鋼材輸送の鉄道モーダルシフト
-  支援事業③ 自動車部品・空器具輸送の船舶モーダルシフト
-  支援事業④ 工業用コーンスターチ輸送の船舶モーダルシフト



※日本貨物鉄道株式会社HPの画像を元に作成
イメージ図のため、拠点はおよその位置を示している

【支援事業①】 厨房機器輸送の鉄道モーダルシフトの実証実験

- ✓ 福井県大野市から福岡県三井郡大刀洗町への厨房機器の輸送経路の一部をトラックから鉄道に転換
- ✓ トラックドライバー運転時間87.4%削減（年間432時間削減）／CO₂排出量76.0%削減（年間40.5t削減）

実施前



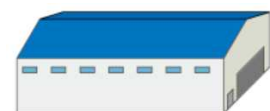
実施後



【支援事業②】 特殊鋼材輸送の鉄道モーダルシフト

- ✓ 島根県安来市～愛知県豊田市における特殊鋼材輸送の輸送経路の一部をトラックから鉄道に転換
- ✓ トラックドライバー運転時間81.9%削減（年間532時間削減）／CO₂排出量68.0%削減（年間31.3t削減）

実施前



ロジスティード
西日本(株)
安来物流センター
(島根県安来市)



約440km



鋼材加工メーカー
(愛知県豊田市)

実施後



ロジスティード
西日本(株)
安来物流センター
(島根県安来市)



約18km

伯耆大山ターミナル駅
(鳥取県米子市)



鉄道に転換

約489km

日本貨物鉄道(株)

名古屋南ターミナル駅
(愛知県名古屋市)



約37km



鋼材加工メーカー
(愛知県豊田市)

ロジスティード西日本(株)

運送手配

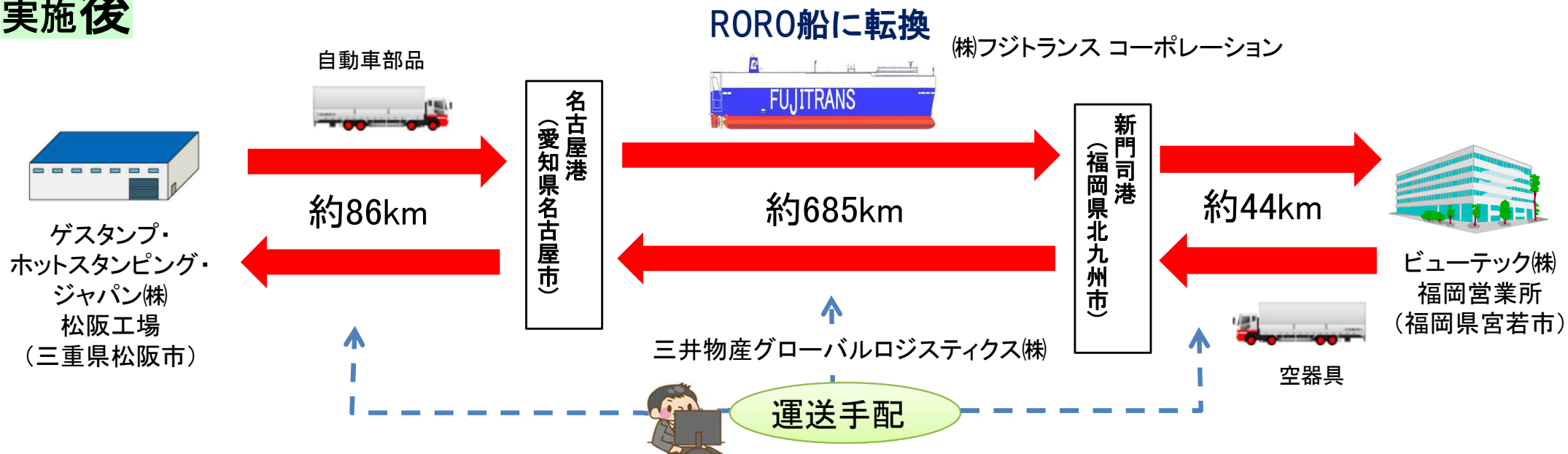
【支援事業③】 自動車部品・空器具輸送の船舶モーダルシフト

- ✓ 三重県松阪市～福岡県宮若市への自動車部品・空器具の輸送経路の一部をトラックから船舶に転換
- ✓ トラックドライバー運転時間81.0%削減（年間1,700時間削減）／CO₂排出量43.0%削減（年間69.8t削減）

実施前



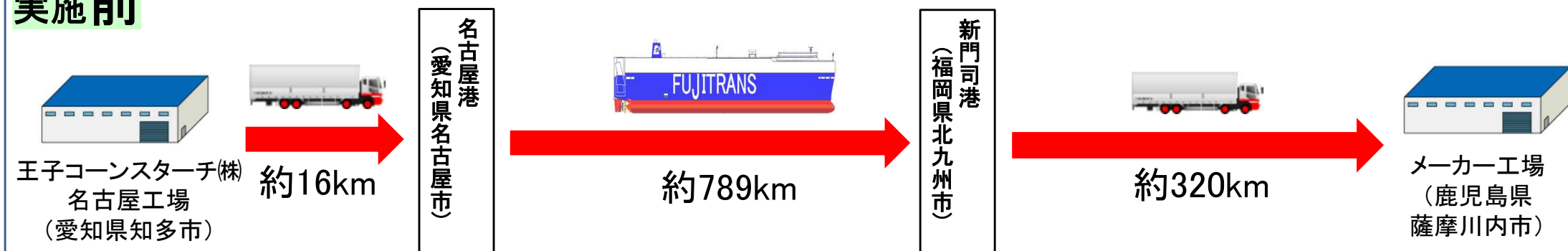
実施後



【支援事業④】 工業用コーンスターチ輸送の船舶モーダルシフト

- ✓ 愛知県知多市～鹿児島県薩摩川内市への工業用コーンスターチの輸送経路の長距離トラック輸送区間をトラックから船舶に転換
- ✓ トラックドライバー運転時間68.7%削減（年間396時間削減）／CO₂排出量25.0%削減（年間26.1t削減）

実施前



実施後



事業目的

- 物流分野の労働力不足に対応するとともに、温室効果ガスの排出量を削減しカーボンニュートラルを推進するため、物流効率化法の枠組みの下、荷主・物流事業者を中心とする多様な関係者と連携したモーダルシフト等を推進。

事業内容

- モーダルシフト等の物流効率化の取組について、①物流効率化法に基づく「総合効率化計画」の策定経費（協議会の開催等）や、②「認定総合効率化計画」に基づくモーダルシフトやトラック輸送の効率化（幹線輸送の集約化、中継輸送、共同配送、貨客混載等）に関する事業の初年度の運行経費に対して支援。
- ①、②のうち、省人化・自動化機器の導入等の計画策定や実際に当該機器を用いた運行には、補助額上限の引上げ等を実施。

実施に向けた主な流れ

- 1 協議会の立上げ
 - ・物流事業者、荷主等の関係者による物流効率化に向けた意思共有
- 2 協議会の開催
 - ・関係者の参集、輸送条件に係る情報やモーダルシフト等の実現に向けた課題の共有及び調整、CO₂排出量削減効果の試算 等
- 3 総合効率化計画の策定
 - ・協議会の検討結果に基づき、物流効率化法に規定する「総合効率化計画」の策定
- 4 総合効率化計画の認定・実施準備
- 5 運行開始

計画策定経費補助

補助上限・補助率

上限総額 500万円	省人化・自動化機器導入 上限300万円 (補助率：1/2以内)
	計画策定経費補助 上限200万円 (補助率：定額)
上限総額 1,000万円	省人化・自動化機器導入 上限500万円 (補助率：2/3以内)
	運行経費補助 上限500万円 (補助率：1/2以内)

省人化・自動化への転換・促進を支援

- <省人化・自動化機器の導入例>
- ・荷物の保管場所から荷さばき場までの無人搬送車での移動
 - ・ピッキングロボットや無人フォークリフトを使用したパレット、コンテナ等への荷物の積付け



無人搬送車

ピッキングロボット



無人フォークリフト